

令和3年度第1回春日井市地域公共交通会議議事録

1 開催日時 令和3年4月20日（火曜日）午前10時～午前11時45分

2 開催場所 市役所南館4階 第3委員会室

3 出席者

【会長】	中部大学 工学部都市建設工学科教授	磯部 友彦
【委員】	名鉄バス株式会社	
	運輸本部運行部運行課長	吉岡 実
	愛知県タクシー協会春日井支部長	奥村 薫績
	高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社	
	取締役	裏見 敏郎
	春日井市区長町内会長連合会理事	吉田 和敬
	春日井市民生委員児童委員協議会委員	小川 寛
	春日井市老人クラブ連合会副会長	金田 辰男
	春日井商工会議所副会頭	木野瀬 吉孝
	社会福祉法人春日井市社会福祉協議会会長	黒田 龍嗣
	春日井市婦人会協議会書記	伊藤 月美
	愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事	高木 数馬
	愛知県春日井警察署交通課長	橋本 博史
	愛知県都市・交通局交通対策課担当課長	澤木 徹
	春日井市建設部道路課長	苅谷 健生
【参考人】	春日井市まちづくり推進部長	大島 常生
	近鉄東美タクシー株式会社	
	春日井営業副所長	下屋敷 輝樹
	国土交通省中部運輸局愛知運輸支局	
	運輸企画専門官	木下 淳一
【事務局】	春日井市まちづくり推進部次長	尾関 健次
	都市政策課	
	課長	森 浩之
	課長補佐	松浦 武幸
	主査	津田 哲宏
	主査	米山 創
	主任	安藤 里紗
	技師	神田 哲鑑

4 傍聴者

2名

5 議題

- (1) 協議事項 1 かすがいシティバス路線見直しにあわせた運賃区分等の変更について
- (2) 協議事項 2 牛山区・鷹来地区の公共交通について
- (3) 報告事項 1 AIオンデマンド乗合サービス実証実験結果報告
- (4) 報告事項 2 名鉄バス玉野台循環線、東野線のダイヤ改正について

6 会議資料

- (1) 資料 1 かすがいシティバス路線見直しにあわせた運賃区分等の変更について
- (2) 資料 2 牛山区・鷹来地区の公共交通について
- (3) 資料 3 高蔵寺ニュータウンにおけるAIオンデマンド乗合サービス利用状況報告
- (4) 資料 4 名鉄バス 玉野台循環線、東野線のダイヤ改正について

7 議事内容

- (1) 協議事項 1 かすがいシティバス路線見直しにあわせた運賃区分等の変更について

【事務局 安藤】

資料 1 について説明を行った。

【磯部会長】

協議事項のため意見交換を行った後、決議を行う。委員に意見を求めた。

【奥村委員】

定期券は、新たなシティバスの運行見直しの中での対応ということで、北部オンデマンドバスは対象外としてもらった。オンデマンドバスはバスとタクシーの中間的な位置づけであるため、定期券などが今後導入されるのであれば、タクシー業界に多大な影響が出るのではないかと考えている。導入や変更の際には、実証実験を重ね、数値データを出して検証を進めて欲しい。

また、定期券の料金が他市と比べ、安い。シティバスが担う、高齢者の移動手段とは、タクシーにも言えることであるため、料金的な競合も考えていただきたい。

【磯部会長】

実証実験時、他の乗物にどのような影響があったか。

【事務局 松浦】

定期券の利用者数は 100 人に満たなかった。年間 30 万人が利用するシティバスにおいて、100 人に満たなかったというのは、今回の実証実験で、大勢の方が購入したわけではないという実績である。一方で、コロナの影響から、様々な運行事業者が違う面でダメージを受

けている。以上のことから、今回の実証実験が顕著に他運行事業者に影響を及ぼしたとは認識していない。

【奥村委員】

北部オンデマンドバスも定期券の対象にして欲しい、という利用者からの要望もあると思うが、タクシー事業に対する影響も鑑み、実験等を重ね、対応して欲しい。

【磯部会長】

ある乗り物に乗っていた人が他へ移った場合も、利用者からみれば利便性が上がる、ということであるが、事業者にとってはマイナスとなる。どういう意味の利用促進かの見極めについて、公共交通会議で担っている視点を忘れないでいただきたい。

料金設定の根拠や考え方についても説明願いたい。

【事務局 松浦】

シティバスの利用者アンケートの結果から、週に 1.5 回以上シティバスを利用する人は多くないことが分かっており、また、地域公共交通計画では、料金割引制度の拡充についても事業の一つとして挙げられていることから、定期券の導入により、週に 1.5 回以上の利用を目指すこととし、この内容での実施を提案したもの。

北部オンデマンドバスに関しては、定期券導入によるタクシー事業者への影響、タクシーに近い呼出タイプの乗り物を定期券により、一個人が独占してしまうこと等を加味し、導入を見送っている。

【磯部会長】

定期券の購入者について追跡調査は可能か。

【事務局 松浦】

定期券は紙ベースのものを想定していることから、IC カードのように何人が何回利用したか、といったデータ追跡はできない。しかしながら、初めての試みであるため、企画の段階ではあるが、定期券販売時にアンケートを行うことも検討中。定期券の利用回数のモニタリングについては、運行事業者に相談したい。

【磯部会長】

個人情報の絡みもあるため、慎重に行っていただきたいが、是非有効活用して欲しい。

定期券協賛店舗の募集方法について説明して欲しい。また、商工会議所からは何か意見はあるか。

【事務局 松浦】

商工会議所事務局と相談し、商工会議所の 5 月号会報に定期券協賛店舗募集のチラシを折り込み、協賛店舗募集を行っていくところである。

【木野瀬委員】

広く、浅くの募集は結果の出ないケースが多い。ピンポイントで店舗を決め、声掛けをした方が良さだろう。それに対し、商工会議所や商店街連合会も協力する、という形が良いと考える。

【磯部会長】

それでは、かすがいシティバス路線見直しにあわせた運賃区分等の変更について承認してよろしいか。

【委員】

異議なし

【磯部会長】

かすがいシティバス路線見直しにあわせた運賃区分等の変更について承認する。

(2) 協議事項 2 牛山区・鷹来地区の公共交通について

【事務局 米山】

資料 2 について説明を行った。

【磯部会長】

協議事項のため意見交換を行った後、決議を行う。委員に意見を求めた。

【木下参考人】

事務局の説明について補足を行うと、北部オンデマンドバスは運行区域を定め、乗合事業を行うものであるため、道路運送法上は区域運行に当たる。運行事業者である、春日井運輸は乗合バスの許可を持っていないため、今後、道路運送法に基づき、乗合バス事業、区域運行の許可申請を中部運輸局長宛に提出することとなる。公共交通会議で協議が調べ、審査期間短縮等のメリットがあるものの、許可がされないと運行はできない点をご承知おきいただきたい。この公共交通会議で協議が調べ、5月末までに乗合の許可申請書提出が必要。乗合事業は、定員 11 人以上のバスを使用することとなっているが、公共交通会議で協議が調べ、地域の実情に応じてタクシー車両でも使用可能。北部オンデマンドバスも小型車両を使用すると資料に記載されているため、その点含め、意見をいただきたい。

【磯部会長】

運輸支局の発言を踏まえ、意見を求める。

【木野瀬委員】

春日井市内のタクシー業者が乗合バスの運行を行うということはリスクもある反面、市民にとっては大きいこと。是非、推進して欲しい。

また、今後の課題として、この地区の方の利便性を思えば、小牧にある商業施設に乗入れるなど、効率的な運用を行って欲しい。

【事務局 松浦】

地域公共交通計画に隣接市との連携を掲げている。以前、公共交通会議で審議いただいたが、小牧市のコミュニティバス「こまくる」において、地域住民の利便性を鑑み、上田楽町にバス停を設置いただいた。北部オンデマンドバスでは、間内駅にバス停を設置しており、「こまくる」等の乗り物への乗り換えも意識している。これを機に、小牧市や他市町

との連携を深めていきたい。

【磯部会長】

北部オンデマンドバスの区域拡張はハードルが高いと思うものの、様々な工夫を行っていくのだろう。北部オンデマンドバスはかすがいシティバスの一つ、という認識で良いか。

【事務局 松浦】

そのとおりである。

【磯部会長】

シティバスの一つであるから、料金についてもシティバスと共通。しかしながら、シティバスであるからこそ、春日井市からは出にくいのだろう。地域公共交通を誰が面倒を見るか、ということにも繋がるため、組織論等を整理し、検討を続けていただきたい。

【裏見委員】

北部オンデマンドバスは利用者が少なかった場合、市が補助金等の支援を行うのか。

【事務局 松浦】

シティバスは運行事業者にかかる経費から運行収入を差し引き、残りを全額市が負担。北部オンデマンドバスは、今までの北部線の運行効率があまり良くなかったことから、地域住民とどうしたらより使いやすくなるか議論し、取り組んできたもの。運行監視し、12月には利用状況等を地域住民にフィードバックするなど、定期的に利用促進を図ることで地域に親しまれる乗り物に育てたい、と考えている。

【木下参考人】

7月にPR活動の一環として無料運行するようだが、運行事業者にはしかるべき対価が支払われるのだろうか。

【事務局 松浦】

そのとおりである。

【木下参考人】

市がタクシーを貸し切り、運行するということか。

【事務局 松浦】

契約そのものは、運賃が無料であろうと、有料であろうと、運行にかかる経費を市が負担した上で、運賃収入分は差し引く、というもの。したがって、運賃が無料でも、有料でも、市が運行経費を負担する。

【磯部会長】

北部線廃止の手続きはどういった状況か。

【木下参考人】

北部線は路線定期運行であるため、原則、半年前までに届け出る必要がある。ただし、公共交通会議で北部線の廃止が決まれば、30日前までに運輸局へ路線廃止届を提出すれば良い。

【事務局 松浦】

次回の地域公共交通会議は7月頃を予定しており、10月のかすがいシティバス路線見直

しについては、すでに路線や運賃、バス停等、決議いただいたところだが、残ったものについて、次回、決議を行い、調べたいと考えている。シティバスで路線定期運行から区域運行に変更するのは初めての経験であるため、運輸支局の方からご指導いただきながら、滞りなく事務は進めていきたい。

【木下参考人】

8月2日から9月末までは、路線定期運行と区域運行の両方が北部エリアにおいて運行している。基本的には、地域の公共交通は路線定期運行を基本とし、区域運行は路線定期運行と整合が取れるように行う、というのが原則。しかしながら、現在の北部線がカバーしていないエリアを北部オンデマンドバスが一部運行することや利用者が円滑に北部オンデマンドバスを利用できるように、ということで移行期間を2か月ほど設けているため、その点について今回の公共交通会議の場で理解をした上で議決を行って欲しい。

【磯部会長】

2か月間は2つのシステムが並ぶが、移行期間、エリアの拡大があるため、並ぶ、ということでご了承いただきたい。それでは、牛山区・鷹来地区の公共交通について承認してよろしいか。

【委員】

異議なし

【磯部会長】

牛山区・鷹来地区の公共交通について承認する。

(3) 報告事項1 AIオンデマンド乗合サービス実証実験結果報告

【事務局 安藤】

資料3について説明を行った。

【磯部会長】

こちらは報告事項ということで、意見交換としたい。

委員に意見を求めた。

【磯部会長】

常にこの報告で何か判断しようとしてもできないといった感想。ある一つの乗り物の利用状況の報告だけではなく、それに対し、他の乗り物の利用状況がどう変わったか、といったことを知りたい。

【事務局 津田】

運行事業者にヒアリングしたところによると、通常タクシーを利用していた人がAIオンデマンド乗合サービスの利用に少し移ってきている印象を受けた。日常的にタクシーを利用している人にとっては、割安で移動ができるということもあり、また、12月以降は名古屋徳洲会総合病院や東海記念病院にて病院連携として出資いただき、利用料金の割引を行ったことで利用が伸びたこともある。

【磯部会長】

その他意見はあるだろうか。

【木下参考人】

2期目の実験と伺っているが、実験は今後ずっと継続できるものではない。事務局から、タクシー利用者が流れているのではないか、という説明があったとおり、タクシー事業にも影響がある話であるため、実装時には、タクシー事業にも影響を考慮して、協議をして欲しい。

【磯部会長】

地域公共交通計画だけでなく、高蔵寺リ・ニュータウン計画というものもある。ニュータウンの問題に対し、適切な手立てとなるよう、調査、深掘りをしていって欲しい。

(4) 報告事項2 名鉄バス玉野台循環線、東野線のダイヤ改正について

【吉岡委員】

資料4について説明を行った。

【磯部会長】

委員に意見を求めた。

【裏見委員】

ダイヤ改正の背景は、市側の補助額が多いため、減額したい、といったところが大きいのか、それとも名鉄バス側の人員配置や車両手配が追い付かない、といったところが大きいのか、どちらだろうか。

【事務局 松浦】

地域公共交通計画内では、路線バスサービスの維持、支援ということで、名鉄バスにおいては、路線バスサービスをなるべく維持していただき、市では、地域公共交通会議の意見を聞きながら、必要に応じて適切に支援を行う、と決めた。

令和元年度と令和2年度の補助額は大きな差がある。また、名鉄バス路線は毎年度利用者数に応じ、増減便を行っていたものの、この路線は補助路線ということもあり、利用者数が徐々に減る中でも便数が維持され続けてきた。そのため、コロナによるお客様の数が減少してきた実態に合わせ、ダイヤの調整を行ったところである。今後、アフターコロナにより、利用者が戻ってこれば、再度調整する必要があると思っている。

【吉岡委員】

ダイヤ改正後の利用者数について、今回のダイヤ改正は市とよく調整を行い、1便、1便状況を確認しながら、ダイヤ作成を行った。通勤、通学で利用される朝の時間帯は現状のダイヤを維持し、乗られていないダイヤを合理化したもの。2019年と対比すると、82%程度乗車いただいている。

【磯部会長】

市では、補助額を減額したいため、ダイヤ改正を行ったのか、また、名鉄バスは乗務員不足が影響し、ダイヤ改正をしたのか、について答えていただきたい。

【事務局 松浦】

補助額が大幅に増額したこともあり、適切な支援になるよう便数の見直しを申し出た。

【吉岡委員】

乗務員不足について、コロナ以前はひっ迫していたが、コロナの影響で業務量が若干減ってきていることから、緊急的な乗務員不足は一時的に回避ができています。ただし、平常時に戻れば、必然的に発生するだろう。

【磯部会長】

ダイヤ改正は適正なバランスという観点から行われ、乗務員不足はかろうじて今はバランスが取れていると理解した。今後も本会議で情報提供を積極的に行っていただきたい。

上記のとおり令和3年度第1回春日井市地域公共交通会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

令和3年5月24日

会 長 磯部 友彦

署名人 小川 寛